

2025年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻 人文社会コース

(第2次) 入試問題

【 哲学 】

(一般入試A)

注 意

- 1 問題紙 5 ページ, 解答用紙 3 枚, 下書き用紙 3 枚である。
- 2 指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

社会創成専攻 人文社会コース 哲学 問題
(一般入試A)

〈1〉 次の文章を読んで、以下の問1～2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

社会創成専攻 人文社会コース 哲学 問題
(一般入試A)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

社会創成専攻 人文社会コース 哲学 問題
(一般入試A)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

【田島正樹『読む哲学事典』より。一部改変】

- 問1 下線部①について、「善を否定すれば悪になるが、悪を否定したからと言って善を得られるとは限らない」とはどういうことか、本文に即して説明しなさい。
- 問2 下線部②について、そこで述べられている筆者の主張に対するあなたの見解を根拠とともに述べなさい。

社会創成専攻 人文社会コース 哲学 問題
(一般入試A)

〈2〉 次の英文中の下線部(1)および(2)の箇所を、それぞれ日本語に訳しなさい。ただし、(1)については、イタリックにしている *this contrast* の具体的な内容が何であることを明確にして訳すこと。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

【Harry Frankfurt, “The Problem of Action” より。一部改変】

社会創成専攻 人文社会コース 哲学 問題
(一般入試A)

〈3〉 次の①～⑩の事項から4つを選び、それぞれについて100字程度で説明しなさい(選んだ事項の番号を、解答用紙の[]内にそれぞれ明示して解答すること)。

- ① プラトンの「洞窟の比喻」
- ② カントの「規定的判断力」と「反省的判断力」
- ③ ラッセルの「記述の理論」
- ④ ウィトゲンシュタインの「家族的類似性」
- ⑤ ライルの「カテゴリーミステイク」
- ⑥ クワインの「存在論的コミットメントの基準」
- ⑦ カントの「定言命法」と「仮言命法」
- ⑧ ヘアの「普遍化可能性」
- ⑨ ロールズの「無知のヴェール」
- ⑩ 「超越論的」